

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年2月4日(2021.2.4)

【公表番号】特表2020-514280(P2020-514280A)

【公表日】令和2年5月21日(2020.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2020-020

【出願番号】特願2019-534814(P2019-534814)

【国際特許分類】

A 6 1 K	35/17	(2015.01)
A 6 1 K	38/36	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	38/20	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7084	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2017.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2017.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
C 1 2 N	5/0783	(2010.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)
C 1 2 N	15/113	(2010.01)
C 1 2 N	15/63	(2006.01)
C 0 7 K	7/06	(2006.01)
C 1 2 N	15/11	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	14/52	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 N	5/09	(2010.01)

【F I】

A 6 1 K	35/17	Z N A Z
A 6 1 K	38/36	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	38/20	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/7084	
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 K	47/36	
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 K	47/02	
C 1 2 N	5/0783	
C 0 7 K	16/28	
C 1 2 N	15/113	
C 1 2 N	15/63	
C 0 7 K	7/06	
C 1 2 N	15/11	
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	14/52	
C 1 2 N	5/10	
C 1 2 N	5/09	

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月17日(2020.12.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(i) 薄膜ニチノール(TFN)マイクロメッシュを含む足場マトリックス内に配置された遺伝的に再プログラムされたリンパ球、(ii)フィブリンを含むリンパ球接着部分、及び(iii)CD137に特異的な抗体を含むリンパ球活性化部分を含む、リンパ球足場。

【請求項2】

遺伝的に再プログラムされたリンパ球が、T細胞を含み、リンパ球活性化部分が、CD3、CD28及びCD137に特異的な抗体を含む、請求項1に記載のリンパ球足場。

【請求項3】

遺伝的に再プログラムされたリンパ球が、ナチュラルキラー(NK)細胞を含み、リンパ球活性化部分が、インターロイキン15、及びCD137に特異的な抗体を含む、請求項1に記載のリンパ球足場。

【請求項4】

遺伝的に再プログラムされたリンパ球が、T細胞及びNK細胞を含み、リンパ球活性化部分が、CD137に特異的な抗体を含む、請求項1に記載のリンパ球足場。

【請求項5】

STINGアゴニストをさらに含む、請求項1に記載のリンパ球足場。

【請求項6】

STINGアゴニストが、c-diGMP、c-diAMP、c-GAMP、c-AIMP、(3',2')c-AIMP、(2',2')c-AIMP、(2',3')c-AIMP、c-AIMP(S)、c-(dAMP-dIMP)、c-(dAMP-2'FdIMP)、c-(2'FdAMP-2'FdIMP)、(2',3')c-(AMP-2'FdIMP)、c-[2'FdAMP(S)-2'FdIMP(S)]、c-[2'FdAMP(S)-2'FdIMP(S)](POM)2及び/又はDMXAAを含む、請求項5に記載のリンパ球足場。

【請求項7】

請求項1に記載のリンパ球足場を含む、対象におけるエスケープバリアント腫瘍細胞を含む不均一な固形腫瘍を治療するための医薬組成物であって、請求項1に記載のリンパ球足場は、対象における不均一な固形腫瘍の破壊を導くのに十分な不均一な固形腫瘍細胞の近位内に、移植され、それによってエスケープバリアント腫瘍細胞を含む不均一な固形腫瘍を治療する、医薬組成物。

【請求項8】

治療される腫瘍細胞が、副腎がん細胞、脳がん細胞、乳がん細胞、子宮頸がん細胞、結腸がん細胞、大腸がん細胞、耳、鼻及び咽喉(ENT)がん細胞、子宮内膜がん細胞、食道がん細胞、消化管がん細胞、グリオーマ細胞、頭頸部がん細胞、腸がん細胞、腎臓がん細胞、肝臓がん細胞、肺がん細胞、リンパ節がん細胞、黒色腫細胞、神経芽腫細胞、卵巣がん細胞、膵臓がん細胞、前立腺がん細胞、直腸がん細胞、セミノーマ細胞、皮膚がん細胞、胃がん細胞、奇形腫細胞、甲状腺がん細胞又は子宮がん細胞である、請求項7に記載の医薬組成物。

【請求項9】

治療される腫瘍細胞が、膠芽腫細胞、膵臓腺がん細胞又は卵巣がん細胞である、請求項7に記載の医薬組成物。

【請求項10】

対象における固形腫瘍を治療するためのリンパ球足場を形成するためのキットであって、(i)足場マトリックス、及び(ii)CD3、CD28及びCD137に特異的な抗体を含むリンパ球活性化部分を含む、キット。

【請求項11】

多孔質粒子をさらに含む、請求項10に記載のキット。

【請求項12】

リポソームをさらに含む、請求項10に記載のキット。

【請求項13】

原細胞をさらに含む、請求項10に記載のキット。

【請求項14】

STINGアゴニストをさらに含む、請求項10に記載のキット。

【請求項15】

STINGアゴニストが、c-diGMP、c-diAMP、c-GAMP、c-AIMP、(3',2')c-AIMP、(2',2')c-AIMP、(2',3')c-AIMP、c-AIMP(S)、c-(dAMP-dIMP)、c-(dAMP-2'FdIMP)、c-(2'FdAMP-2'FdIMP)、(2',3')c-(AMP-2'FdIMP)、c-[2'FdAMP(S)-2'FdIMP(S)]、c-[2'FdAMP(S)-2'FdIMP(S)](POM)2及び/又はDMXAAを含む、請求項14に記載のキット。

【請求項16】

STINGアゴニストが、c-diGMPを含む、請求項14に記載のキット。

【請求項17】

免疫刺激剤をさらに含む、請求項10に記載のキット。

【請求項18】

免疫刺激剤が、サイトカイン、抗体、小分子、siRNA、プラスミドDNA及び/又はワクチンアジュvantである、請求項17に記載のキット。

【請求項19】

免疫刺激剤が、(i)CpG、Cpg-28、ポリ(I:C)、-ガラクトセラミド、MPLA、VTX-2337、EMD1201081)イミキモド、MGN1703、G100、CBLB502、ヒルトノール及びイミキモドから選択されるTo11様受容体リガンド並びに/又は(ii)17-ジメチルアミノエチルアミノ-17-デメトキシゲルダナマイシン)から選択される、請求項17に記載のキット。

【請求項20】

リンパ球接着部分としてフィブリンをさらに含む、請求項10に記載のキット。